

[illegible]

2. (Ⅲ)設備単位型

2-2. (Ⅲ)設備単位型の申請要件

【省エネルギー効果の要件】

原油換算量ベースで以下のいずれかの要件を満たす事業について、申請をすることができる。

- ① 計画省エネルギー率が**10%以上**
- ② 計画省エネルギー量が**1k以上**
- ③ 経費当たりの計画省エネルギー量が**1k/千万円以上**

省エネルギー量は、交付申請を行う補助事業ポータルに、導入予定設備の稼働時間等を入力することで、省エネルギー量が自動的に計算される。(以下、「指定計算」という。)申請者が独自に省エネルギー計算を行い、省エネルギー量を算出して申請することもできる。(以下、「独自計算」という。)

【その他の要件】

上記の要件に加えて、省エネ法に基づく定期報告義務がない事業者(特定事業者等以外の事業者)については、エネルギーの合理化に関する中長期計画を、SIIが指定するフォーマットにて策定し提出すること。

【見積取得に当たっての留意事項】

- ・ 交付申請時に期限等が有効な見積書であること。
- ・ 補助対象経費と補助対象外経費が明確に判別できる見積明細を取得すること。
- ・ 当該発注・契約に関する3者以上の見積依頼・競争入札については、1次公募の公募要領の公開日(2025年3月26日(水))以降の発行日であること。
- ・ 特定メーカー又は機種を指定しての見積取得を認めるが、異なる販売事業者3者に見積依頼・競争入札等を行うこと。ただし、「その他SIIが認めた高性能な設備」において、競争入札等によることが困難又は不相当である場合(導入設備が(特許技術を含む等の)特別仕様であり、販売会社が1者しか存在しない場合など)は、その限りでない。
- ・ 見積依頼先に同一資本関係にある法人(関係会社等)が含まれる場合は、必ず同一資本関係にない法人2者以上から見積書を取得すること。
- ・ 見積時に工事の請負先が必要な資格等を有する事業者であることを確認すること。
- ・ 見積条件を統一していない等、適正な価格競争が実施されていないと判断した場合、見積書の再提出を求めることがある。
- ・ 補助対象経費が最低価格であった販売事業者の見積金額を用いて交付申請を行うが、交付決定を受けた補助対象設備の発注は、競争見積を行った3者であれば、いずれの販売事業者でも可とする。

【3者見積の流れ】

- ①設備区分毎に3者以上の見積を取得する。
- ②最低価格の見積書を用いて交付申請を行う。
- ③交付決定日以降に、契約・発注行為を行う。
※発注は、競争見積を行った3者であれば、いずれの販売事業者でも可とする。

7. 資料

別表1 指定設備の設備区分と設備区分毎に定める基準表

> 対象設備の基準値(1/3)

種別	性能区分		定格冷房能力 (kW)	<参考> 能力クラス	基準値
					APF 2006
1-1.電気式 パッケージエアコン (業務用エアコン)	店舗用 (複数組み合わせ 形のものと及び下 記以外のもの)	4方向カセット形	3.6	40形	6.3以上
			4.0	45形	6.2以上
			4.5	50形	6.2以上
			5.0	56形	6.1以上
			5.6	63形	6.1以上
			7.1	80形	6.0以上
			10.0	112形	6.3以上
			12.5	140形	6.0以上
			14.0	160形	5.8以上
			20.0	224形	5.4以上
			25.0	280形	5.0以上
		4方向カセット形 以外	3.6	40形	5.4以上
			4.0	45形	5.2以上
			4.5	50形	5.2以上
			5.0	56形	5.1以上
			5.6	63形	5.1以上
			7.1	80形	5.0以上
			10.0	112形	5.4以上
			12.5	140形	5.0以上
			14.0	160形	4.9以上
			20.0	224形	4.5以上
			25.0	280形	4.2以上
	ビル用 (マルチタイプのもので室内機の運転を個別制 御するもの) ※「マルチタイプのもの」とは、1の室外機に2以 上の室内機を接続するものをいう。		8.0	80形	6.0以上
			10.0	100形	6.0以上
			11.2	112形	5.8以上
			14.0	140形	5.5以上
			16.0	160形	5.2以上
			20.0	200形	6.0以上
			22.4	224形	5.8以上
			25.0	250形	5.6以上
			28.0	280形	5.4以上
			30.0	300形	5.2以上
			33.5	335形	5.0以上
			40.0	400形	5.0以上
			45.0	450形	4.8以上
			50.0	500形	4.6以上
			50.4	504形	4.5以上
	設備用 (室内機が床置きでダクト接続形のものと 及びこれに類するもの) ※「ダクト接続形のものと」は、吹き出し口に ダクトを接続するものをいう。	直吹き形	20.0	224形	5.0以上
			25.0	280形	5.0以上
		ダクト形	20.0	224形	4.8以上
			25.0	280形	4.8以上

<備考>

1. 寒冷地仕様については、性能区分毎の基準エネルギー消費効率に係数(店舗用・ビル用・設備用:0.9)を乗じた数値を満たしていれば、補助対象とする。
2. ハイブリッド空調の室外機マルチ形については、ガスヒートポンプエアコンと電気式パッケージエアコンそれぞれの基準値を満たすこと。
3. ハイブリッド空調の室外機一体形については、ガスヒートポンプエアコンの基準値を満たすこと。
4. 各性能区分の定格冷房能力において、最小の能力未満の設備については、最小の能力における基準値を満たすこと。最大の能力を超える設備については対象外とする。なお、室外機を連結して導入する場合は、連結前の室外機がそれぞれ基準値を満たしていれば、補助対象とする。
5. 区分間の定格冷房能力を有する設備については、その下の能力における基準値を満たすこと。
例)ビル用 定格冷房能力18.0kWの設備→16.0kWの基準値(5.2)を満たすこと
その他、詳細はトップランナー制度「エアコンディショナー 目標年度が2015年度以降の各年度のもの【業務用】」に準ずる。

■その他の注意事項

- ・ 水冷式は、トップランナー基準がないため補助対象外とする。
- ・ 店舗用の床置き形は、「店舗用・4方向カセット形以外」の基準を満たすこと。
- ・ 冷媒にオゾン層を破壊する物質が使用されている設備は補助対象外とする。

空調機器表

[illegible]

注記

※既設配管、系統確認の上追加冷媒を充填する事。
※室外機・室内機間の２次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とし、リモコン配線共本工事とする。
※消費電力は参考とする。
※既設配管、配線の現場調査を十分に行い、新設機器に対応するよう配管、配線の調整は本工事にて行う事。

※R階屋外機は既設コンクリート基礎を再利用の上設置する事。(PAC-9-1.9-2は二段架台を既設コンクリート基礎に設置)
 ※R階以外の屋外機は既製コンクリート基礎にて設置する事。(防振ゴム敷設)
 ※屋内機の改修用ワイドパネルは使用箇所の現場確認の上、該当箇所に合わせた寸法で制作、設置する事

[illegible]

設備設計
株式会社 鼎設計

工事名

名張産業振興センター冷暖房設備（EHP）改修工事

空調機器表

답변 4

24

縮尺 A2:1/N
A3:1/N

設計番号

M-03

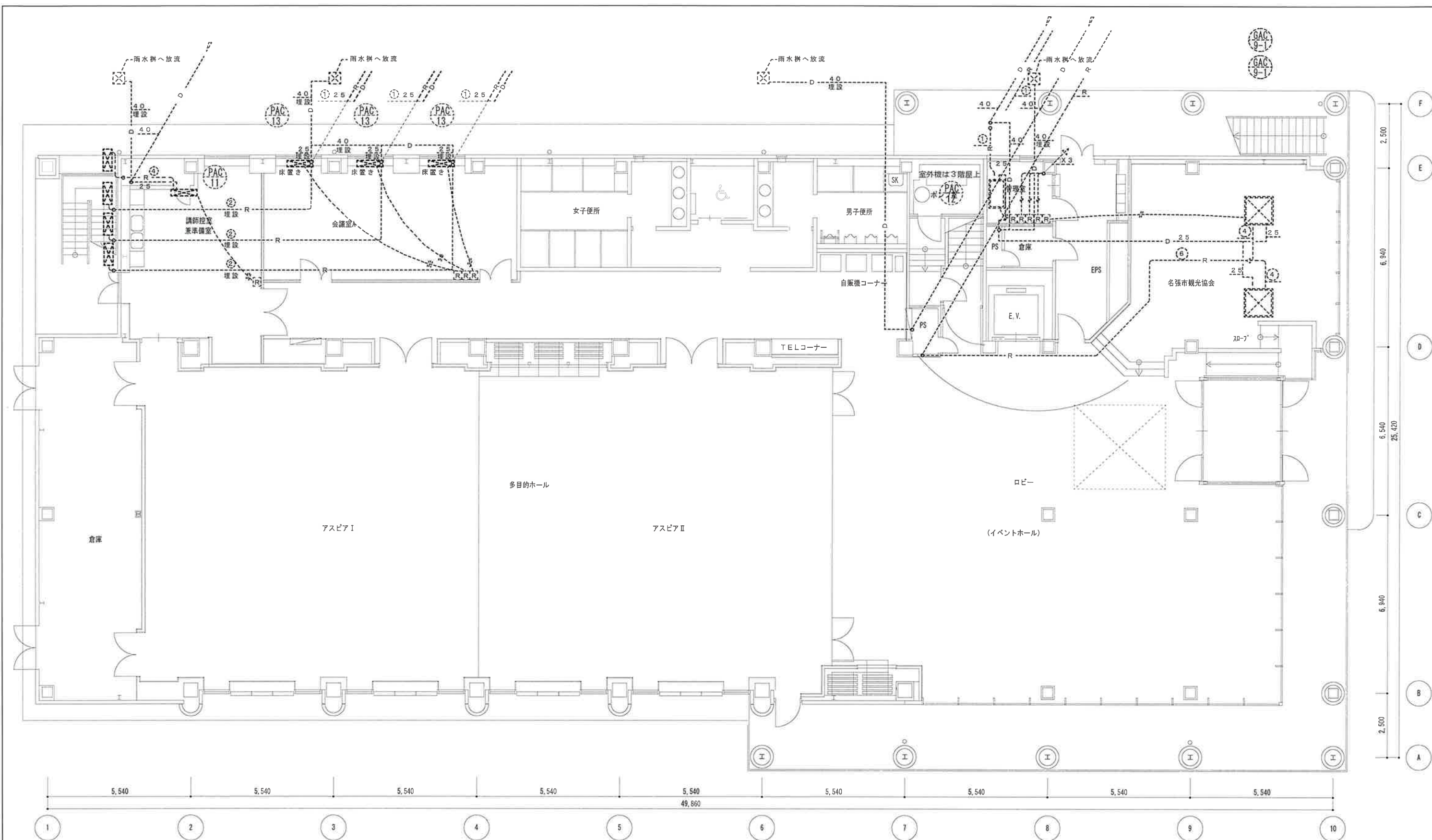


名張商工会議所
総務管理課

総務管理課

原設計図著作権譲渡済





1階平面図 1/100 (A2)

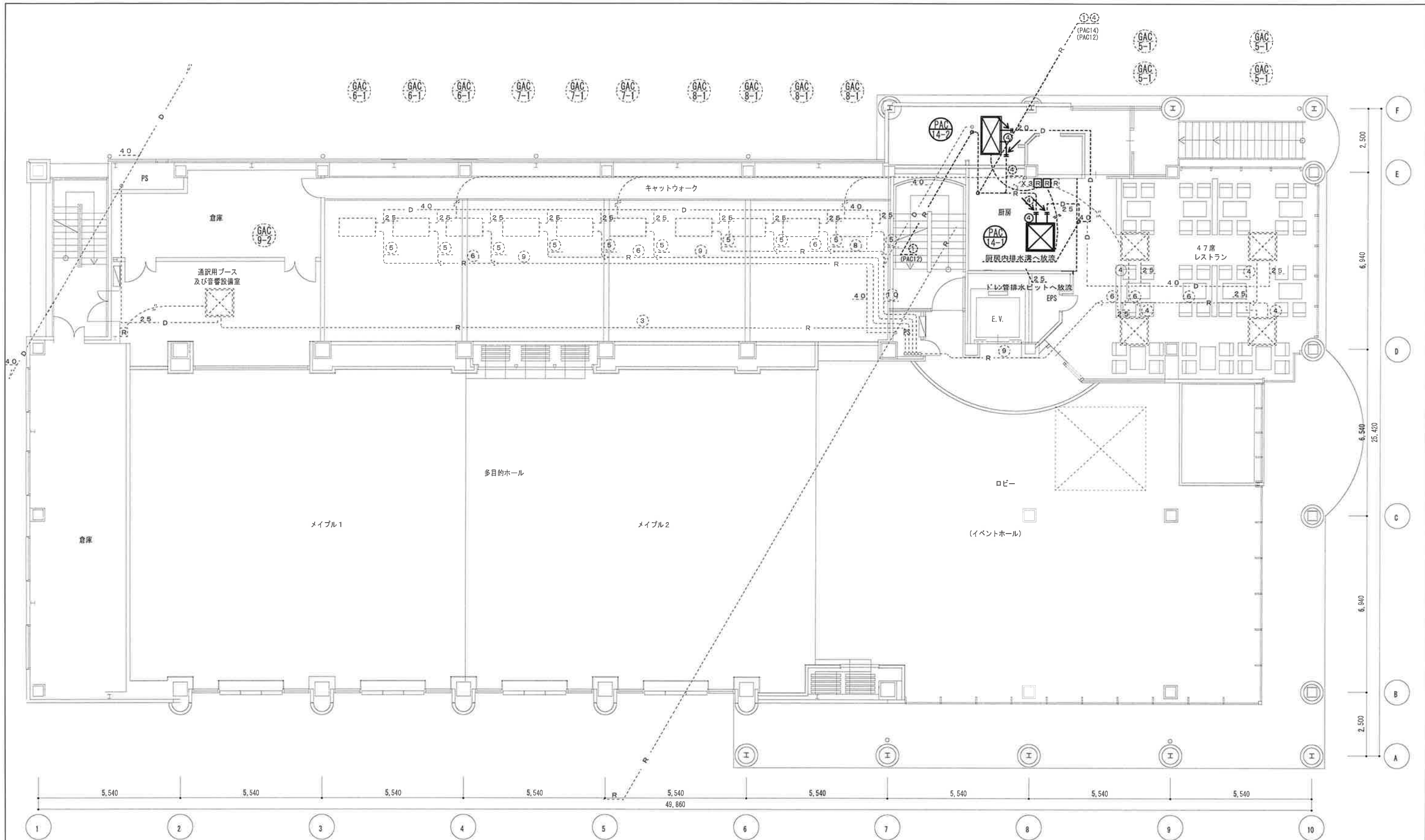
冷媒配管リスト			
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)	配管記号
①	9.52	6.35	CVV 2" - 2C
②	12.7	6.35	CVV 2" - 2C
③	15.88	6.35	CVV 2" - 2C
④	15.88	9.52	CVV 2" - 2C
⑤	19.05	9.52	CVV 2" - 2C

⑥	25.4	9.52	CVV 2" - 2C
⑦	31.8	12.7	CVV 2" - 2C
⑧	31.8	15.88	CVV 2" - 2C
⑨	31.8	19.05	CVV 2" - 2C
⑩	38.1	19.05	CVV 2" - 2C

図示既設配管記号は参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。
図示既設配管サイズは参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。

凡例	
新設配管を示す	——
既設機器、配管を示す (既設再利用)	-----
既設配管接続箇所を示す	←
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ上、立ち上げ配管接続箇所を示す	↑

※リコンは既設リコン撤去後、新設リコン取付 (取付ｽﾍﾞｯｸｽ、配線は再利用)
※連絡線、リコン線は新設機器、リコンに既設配線を接続する事 (必要に応じて延長する事)



冷暖配管リスト			
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)	送り配線
①	9.52	6.35	CVV2* -2C
②	12.7	6.35	CVV2* -2C
③	15.88	6.35	CVV2* -2C
④	15.88	9.52	CVV2* -2C
⑤	19.05	9.52	CVV2* -2C

⑥	25.4	9.52	CVV2* -2C
⑦	31.8	12.7	CVV2* -2C
⑧	31.8	15.88	CVV2* -2C
⑨	31.8	19.05	CVV2* -2C
⑩	38.1	19.05	CVV2* -2C

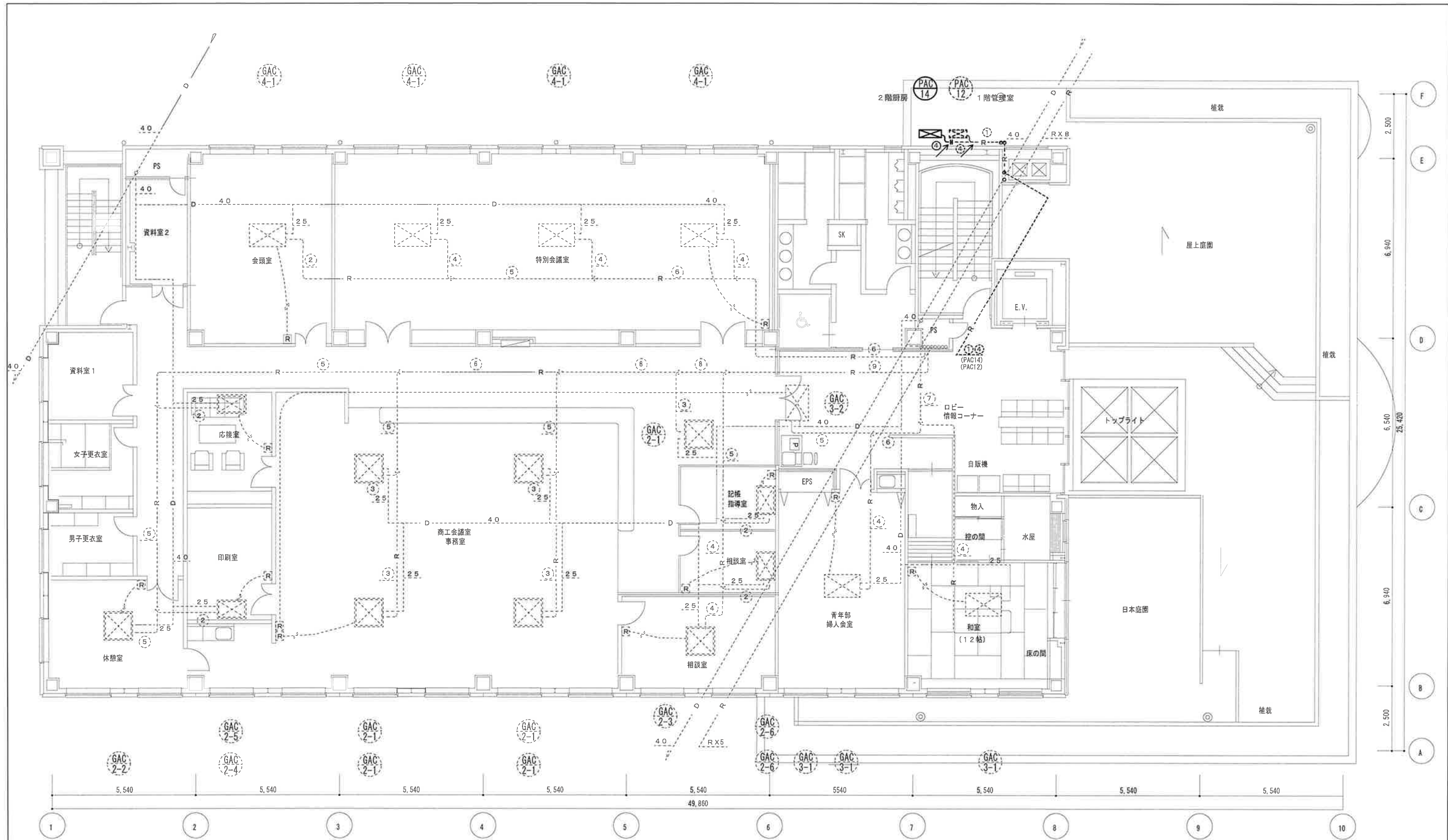
図示既設送り配線は参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。
図示既設配管サイズは参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。

改修2階平面図 1/100 (A2)

凡例

新設配管を示す	——
既設機器、配管を示す (既設再利用)	-----
既設配管接続箇所を示す	←
スラブ上、立ち上げ配管接続箇所を示す	↑

※リモンは既設リモン撤去後、新設リモン取付 (取付ボルト、配線は再利用)
※連絡線、リモン線は新設機器、リモンに既設配線を接続する事 (必要に応じて延長する事)



改修3階平面図 1/100 (A2)

冷暖配管リスト			
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)	送り配管
①	9.52	6.35	CVV 2" - 2C
②	12.7	6.35	CVV 2" - 2C
③	15.88	6.35	CVV 2" - 2C
④	15.88	9.52	CVV 2" - 2C
⑤	19.05	9.52	CVV 2" - 2C

⑥	25.4	9.52	CVV 2" - 2C
⑦	31.8	12.7	CVV 2" - 2C
⑧	31.8	15.88	CVV 2" - 2C
⑨	31.8	19.05	CVV 2" - 2C
⑩	38.1	19.05	CVV 2" - 2C

図示既設配管は参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。
図示既設配管サイズは参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。

凡例	
新設配管を示す	——
既設機器、配管を示す (既設再利用)	-----
既設配管接続箇所を示す	←
ｽﾌﾟﾗﾝｸﾞ上、立ち上げ配管接続箇所を示す	↑

※既設は既設機撤去後、新設機取付 (取付ボルト、配線は再利用)
※運搬機、機台は新設機、機台に既設配管を接続する事
(必要に応じて延長する事)

設備設計
株式会社 昇設計

工事名 名張産業振興センター冷暖房設備 (EHP) 改修工事

図面番号 6/19

設計番号 M-06



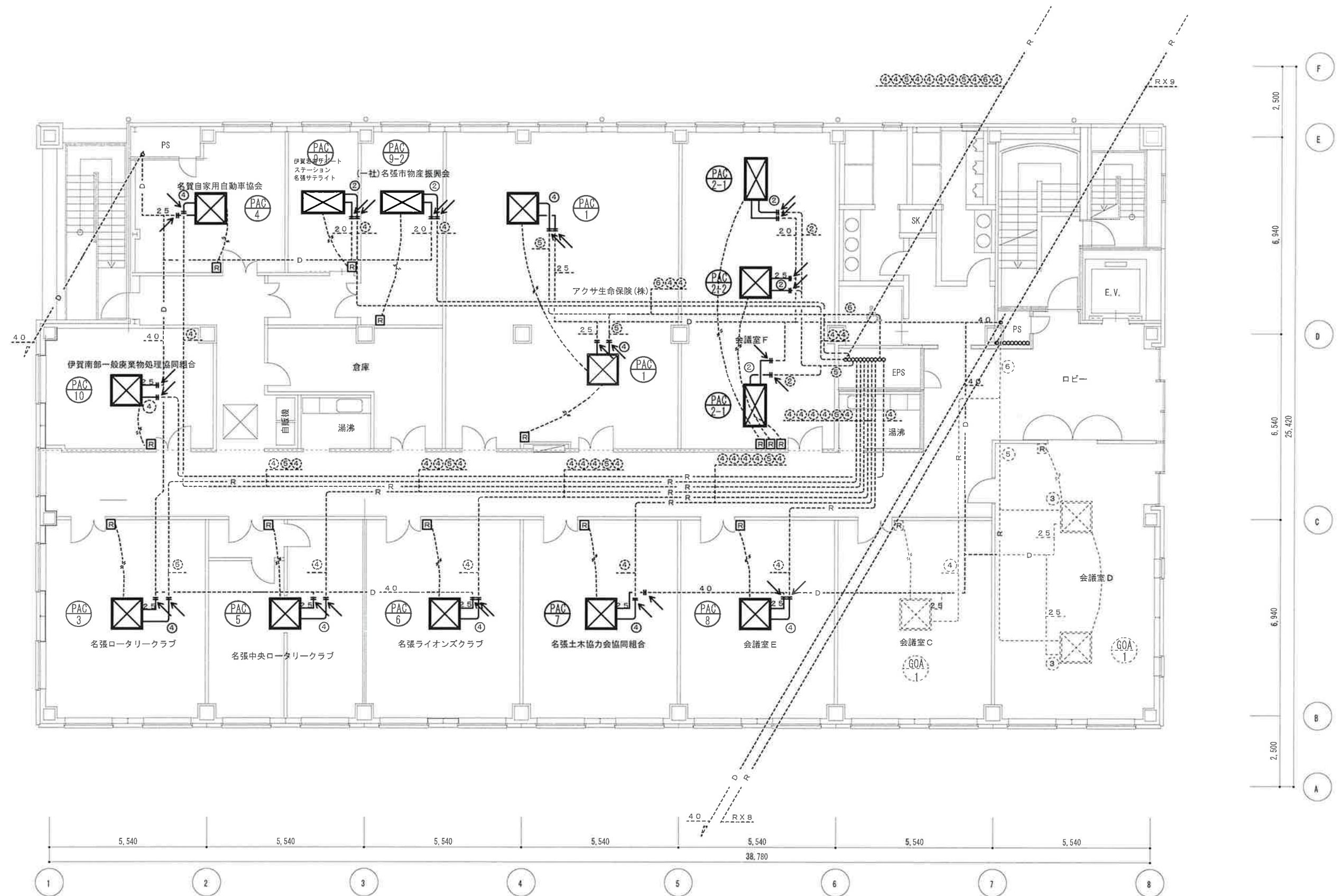
名張商工会議所
総務管理課

原設計図著作権譲渡済



改修3階平面図

縮尺 A2:1/100
A3:1/140



改修4階平面図 1/100 (A2)

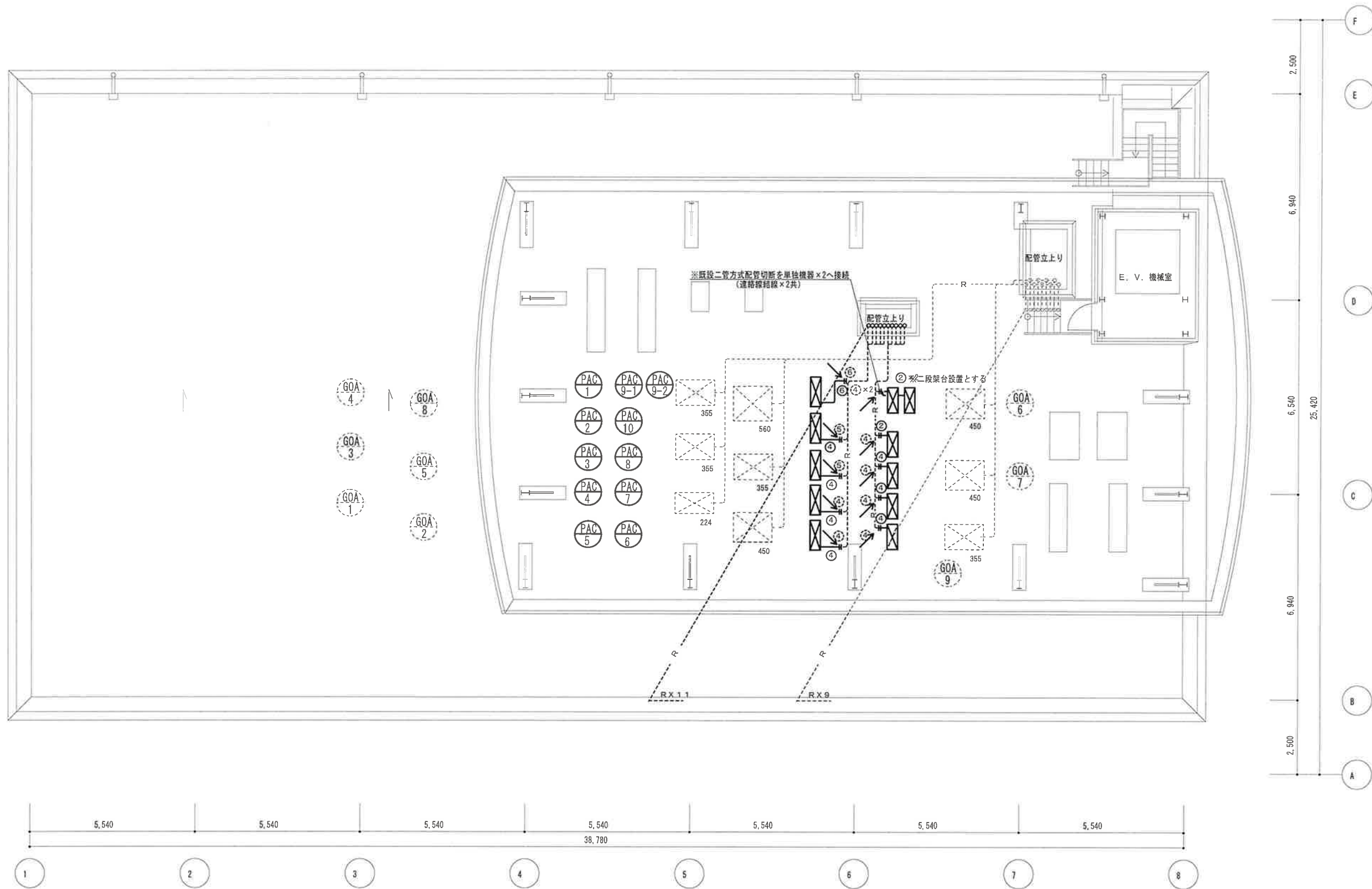
冷媒配管リスト			
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)	液り配線
①	9.52	6.35	CVV 2" - 2C
②	12.7	6.35	CVV 2" - 2C
③	15.88	6.35	CVV 2" - 2C
④	15.88	9.52	CVV 2" - 2C
⑤	19.05	9.52	CVV 2" - 2C

⑥	25.4	9.52	CVV 2" - 2C
⑦	31.8	12.7	CVV 2" - 2C
⑧	31.8	15.88	CVV 2" - 2C
⑨	31.8	19.05	CVV 2" - 2C
⑩	38.1	19.05	CVV 2" - 2C

図示既設液り配管は参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。
図示既設ガス管サイズは参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。

凡例	
新設配管を示す	——
既設機器、配管を示す (既設再利用)	-----
既設配管接続箇所を示す	←
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ上、立ち上げ配管接続箇所を示す	↑

※リモコンは既設リモコン撤去後、新設リモコン取付 (取付がつかない、配線は再利用)
※連絡線、リモコンは新設機器、リモコンに既設配線を接続する事
(必要に応じて延長する事)



改修R階平面図 1/100 (A2)

冷媒配管リスト			
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)	渡り配管
①	9.52	6.35	CVV2" - 2C
②	12.7	6.35	CVV2" - 2C
③	15.88	6.35	CVV2" - 2C
④	15.88	9.52	CVV2" - 2C
⑤	19.05	9.52	CVV2" - 2C

⑥	25.4	9.52	CVV2" - 2C
⑦	31.8	12.7	CVV2" - 2C
⑧	31.8	15.88	CVV2" - 2C
⑨	31.8	19.05	CVV2" - 2C
⑩	38.1	19.05	CVV2" - 2C

図示既設渡り配管は参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。
図示既設配管サイズは参考とし、現場調査の上、適正に施工すること。

凡例

新設配管を示す	——
既設機器、配管を示す (既設再利用)	-----
既設配管接続箇所を示す	←
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ上、立ち上げ配管接続箇所を示す	↑

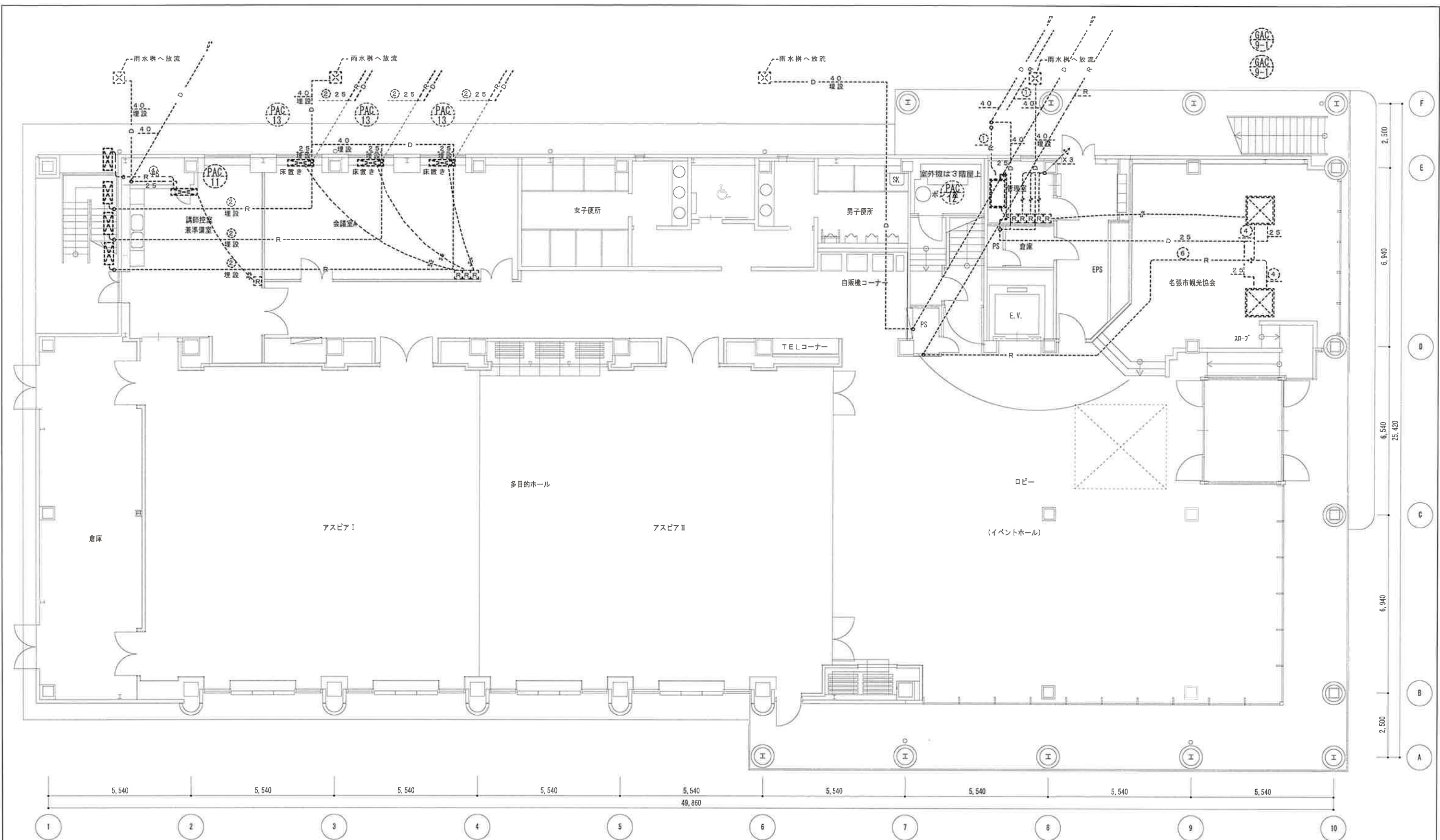
※旧機は既設機を撤去後、新設機を取付 (取付ﾎﾞｰﾀﾞ、配管は再利用)
※連絡線、旧機は新設機、旧機に既設配管を接続する事 (必要に応じて延長する事)

既設空調機器表 (撤去)

機器番号	機器名称 既設想定参考品番	形 式 ・ 仕 様	電 気 容 量				台数	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力			
			(V)	(KW)	(KW)			
K P A C - 1	パッケージエアコン	形 式 天井カセット4方向 (同時ツイン・同容量同タイプ)	3-200	5.5	冷 8.00	1	屋外機：R階	
		冷房能力 20.0 (～22.4) kW			暖 7.33		屋内機：4階77号生命保健 (株)	
	PLHX-J224AAF9	暖房能力 22.4 (～25.0) kW			低温 16.4			
	PLA-J112	付属品 化粧パネ、リモコン、他一式共						
		基 礎 コンクリート基礎残置 (再利用)						
K P A C - 2	マルチエアコン	形 式 屋外機	3-200	3.5	冷 5.95	1	R階	
		冷房能力 14.0 kW			暖 5.58			
	PUSY-J140M-A1	暖房能力 16.0 kW			低温			
		基 礎 コンクリート基礎残置 (再利用)						
K P A C - 2 - 1	マルチエアコン	形 式 天井カセット2方向	1-200		冷 0.16	2	4階会議室F	
		冷房能力 4.5 kW			暖 0.15			
	PLFY-J45LMD	暖房能力 5.0 kW			低温			
		付属品 化粧パネ、リモコン、他一式共						
K P A C - 2 - 2	マルチエアコン	形 式 天井カセット4方向	1-200		冷 0.08	1	4階会議室F	
		冷房能力 4.5 kW			暖 0.08			
	PLFY-J45JM-A1	暖房能力 5.0 kW			低温			
		付属品 化粧パネ、リモコン、他一式共						
K P A C - 3	パッケージエアコン	形 式 天井カセット4方向	3-200	3.0	冷 3.26	1	屋外機：R階	
		冷房能力 9.0 (～10.0) kW			暖 3.41		屋内機：4階名張ロビークラブ	
	PLH-J100KA	暖房能力 10.0 (～11.2) kW			低温 7.50			
		付属品 化粧パネ、リモコン、他一式共						
		基 礎 コンクリート基礎残置 (再利用)						
K P A C - 4	パッケージエアコン	形 式 天井カセット4方向	3-200	2.0	冷 2.55	1	屋外機：R階	
		冷房能力 6.3 (～7.1) kW			暖 2.46		屋内機：	
	PLH-J71KA	暖房能力 7.1 (～8.0) kW			低温 5.60		4階名賀自家用自動車協会	
		付属品 化粧パネ、リモコン、他一式共						
		基 礎 コンクリート基礎残置 (再利用)						
K P A C - 5	パッケージエアコン	形 式 天井カセット4方向	3-200	2.4	冷 3.00	1	屋外機：R階	
		冷房能力 7.1 (～8.0) kW			暖 2.88		屋内機：4階名張中央ロビークラブ	
	PLH-J80KA	暖房能力 8.0 (～9.0) kW			低温 6.00			
		付属品 化粧パネ、リモコン、他一式共						
		基 礎 コンクリート基礎残置 (再利用)						
K P A C - 6	パッケージエアコン	形 式 天井カセット4方向	3-200	2.0	冷 2.55	1	屋外機：R階	
		冷房能力 6.3 (～7.1) kW			暖 2.46		屋内機：4階名張ライオンズクラブ	
	PLH-J71KA	暖房能力 7.1 (～8.0) kW			低温 5.60			
		付属品 化粧パネ、リモコン、他一式共						
		基 礎 コンクリート基礎残置 (再利用)						
K P A C - 7	パッケージエアコン	形 式 天井カセット4方向	3-200	2.0	冷 2.55	1	屋外機：R階	
		冷房能力 6.3 (～7.1) kW			暖 2.46		屋内機：	
	PLH-J71KA	暖房能力 7.1 (～8.0) kW			低温 5.60		4階名張土木協定会共同組合	
		付属品 化粧パネ、リモコン、他一式共						
		基 礎 コンクリート基礎残置 (再利用)						

注記 該当機器は撤去するものとする。
該当空調機器のリモコン類は撤去するものとする。
該当機器撤去時、冷媒回収・破壊処理を行うものとする。

[illegible]



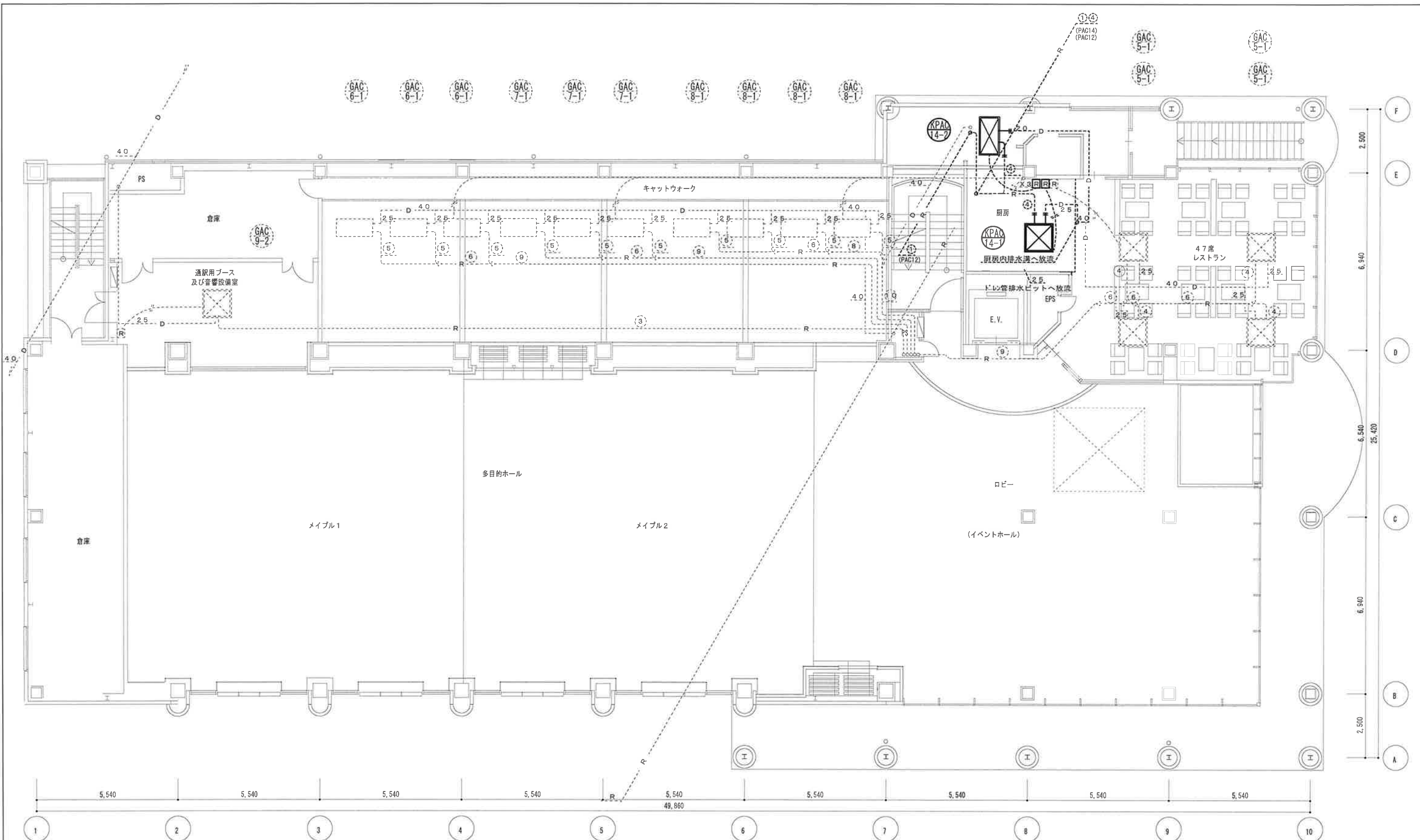
冷媒配管リスト			
記号	ガス管(φ)	液管(φ)	流し配線
①	9.52	6.35	CVV2"-2C
②	12.7	6.35	CVV2"-2C
③	15.88	6.35	CVV2"-2C
④	15.88	9.52	CVV2"-2C
⑤	19.05	9.52	CVV2"-2C

⑥	25.4	12.7	CVV2"-2C
⑦	31.8	12.7	CVV2"-2C
⑧	31.8	15.88	CVV2"-2C
⑨	31.8	19.05	CVV2"-2C
⑩	38.1	19.05	CVV2"-2C

既設配管は参考とする
既設配管は参考とする

既設1階平面図 1/100 (A2)

凡例
既設機器、配管を示す(撤去)
既設機器、配管を示す(残置)
既設配管切断箇所を示す
λ77'上、立ち上げ配管切断箇所を示す
※リフトは撤去する事(取付'ガス、配線は再利用)
※既設連絡線、リフト線(再利用)は機器離線を行う事



冷媒配管リスト			
記号	ガス管(φ)	液管(φ)	配管仕様
①	9.52	6.35	CVV2'-2C
②	12.7	6.35	CVV2'-2C
③	15.88	6.35	CVV2'-2C
④	15.88	9.52	CVV2'-2C
⑤	19.05	9.52	CVV2'-2C

⑥	25.4	12.7	CVV2'-2C
⑦	31.8	12.7	CVV2'-2C
⑧	31.8	15.88	CVV2'-2C
⑨	31.8	19.05	CVV2'-2C
⑩	38.1	19.05	CVV2'-2C

既設配管は参考とする
既設配管は参考とする

既設2階平面図 1/100 (A2)

凡例	
既設機器、配管を示す(撤去)	——
既設機器、配管を示す(残置)	----
既設配管切断箇所を示す	=
スラブ上、立ち上げ配管切断箇所を示す	↑
※リフトは撤去する事(取付ボックス、配線は再利用) ※既設連絡線、リフト線(再利用)は機器離線を行う事	

設備設計
株式会社 堀設計

工事名 名張産業振興センター冷暖房設備 (EHP) 改修工事
既設2階平面図

図面番号 11/19
縮尺 A2:1/100
A3:1/140

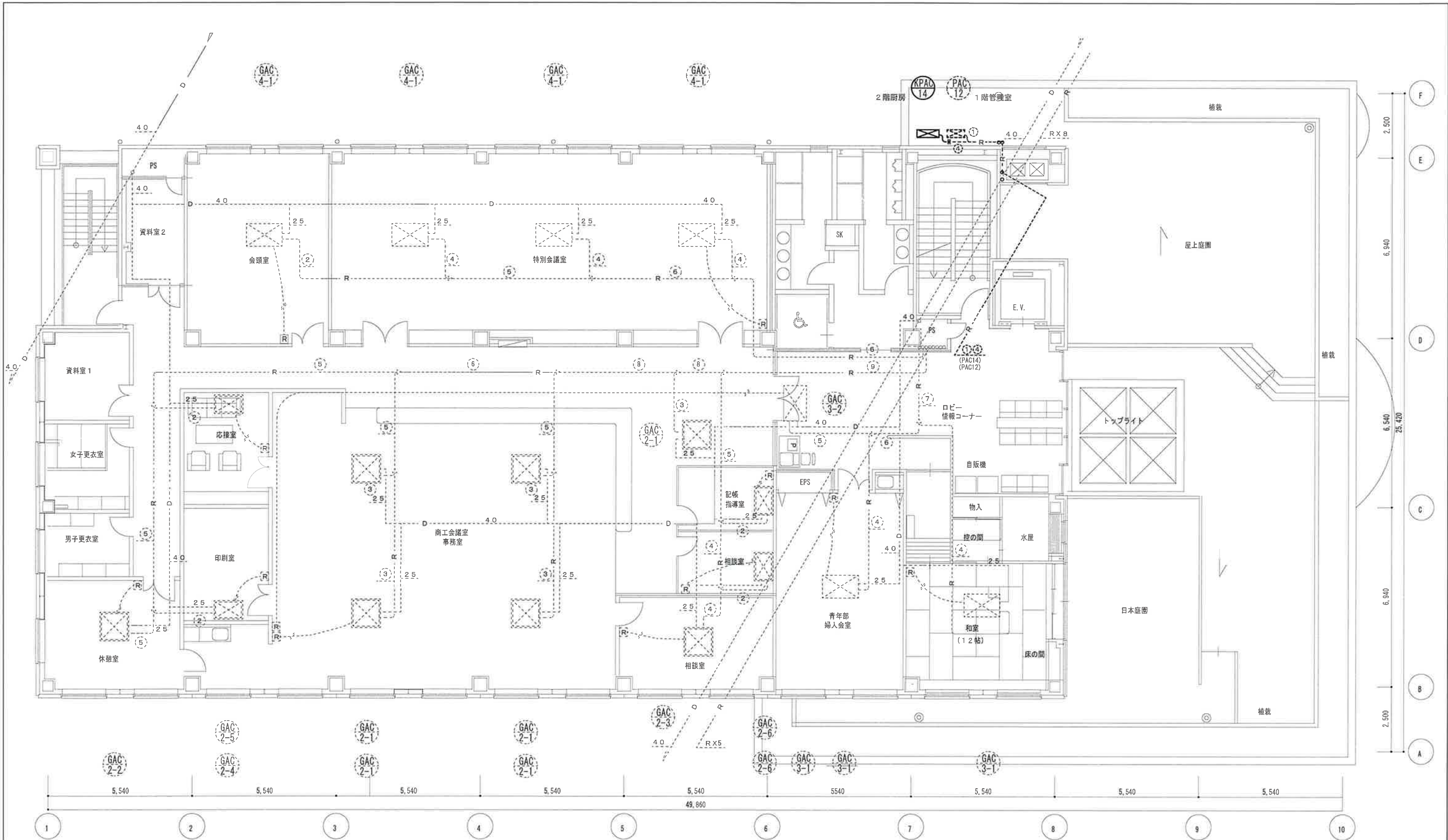
設計番号 M-11



名張商工会議所
総務管理課

原設計図著作権者 堀設計





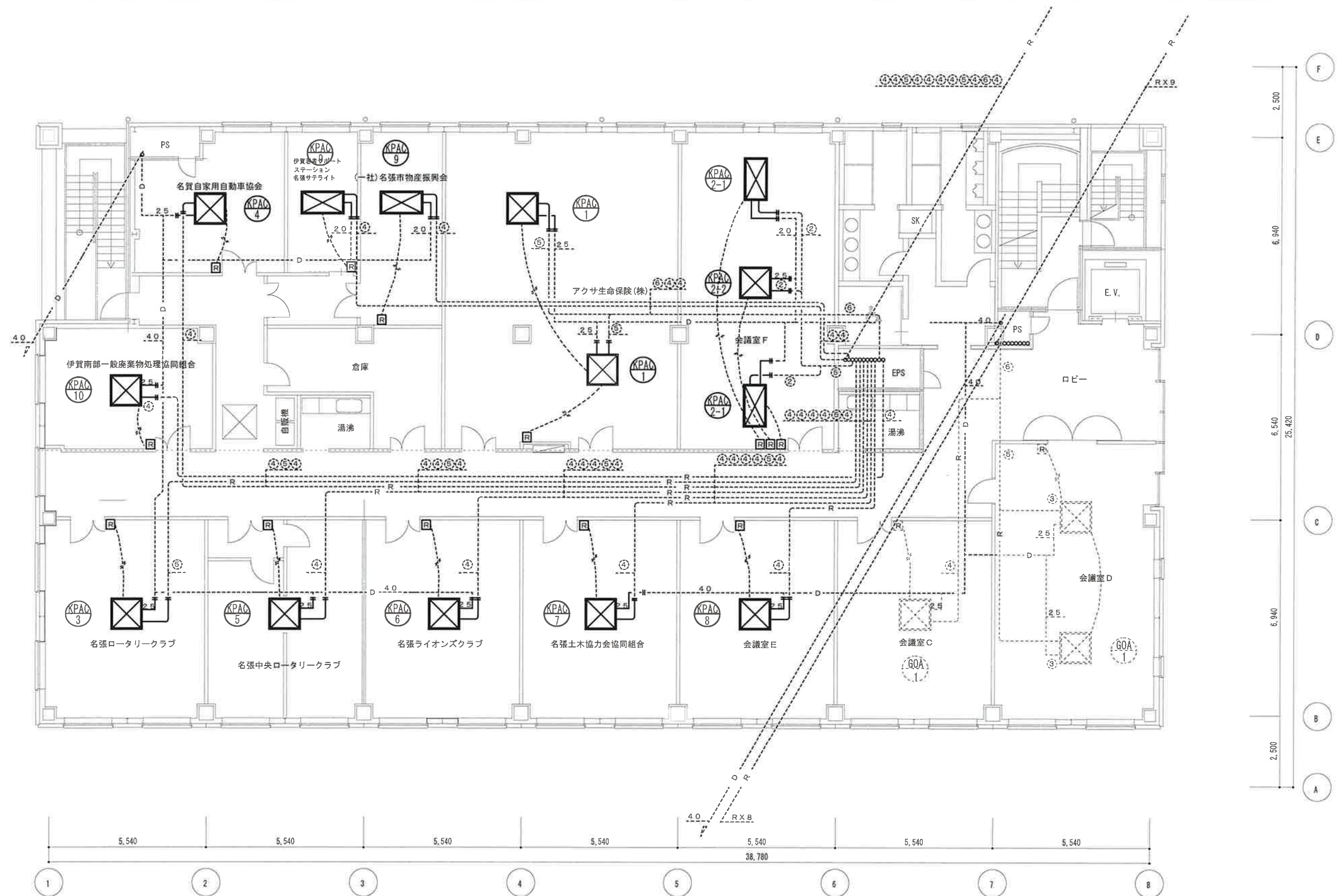
冷媒配管リスト			
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)	渡り配線
①	9. 52	6. 35	CVV 2" - 2C
②	12. 7	6. 35	CVV 2" - 2C
③	15. 88	6. 35	CVV 2" - 2C
④	15. 88	9. 52	CVV 2" - 2C
⑤	19. 05	9. 52	CVV 2" - 2C

⑥	25. 4	12. 7	CVV 2" - 2C
⑦	31. 8	12. 7	CVV 2" - 2C
⑧	31. 8	15. 88	CVV 2" - 2C
⑨	31. 8	19. 05	CVV 2" - 2C
⑩	38. 1	19. 05	CVV 2" - 2C

既設配管は参考とする
既設配管は参考とする

既設 3 階平面図 1 / 100 (A2)

凡例	
既設機器、配管を示す (撤去)	---
既設機器、配管を示す (残置)	----
既設配管切断箇所を示す	=
※7' 上、立ち上げ配管切断箇所を示す	↑
※リコは撤去する事 (取付がツカ、配線は再利用) ※既設連動線、リコ線 (再利用) は機器離線を行う事	



既設4階平面図 1/100 (A2)

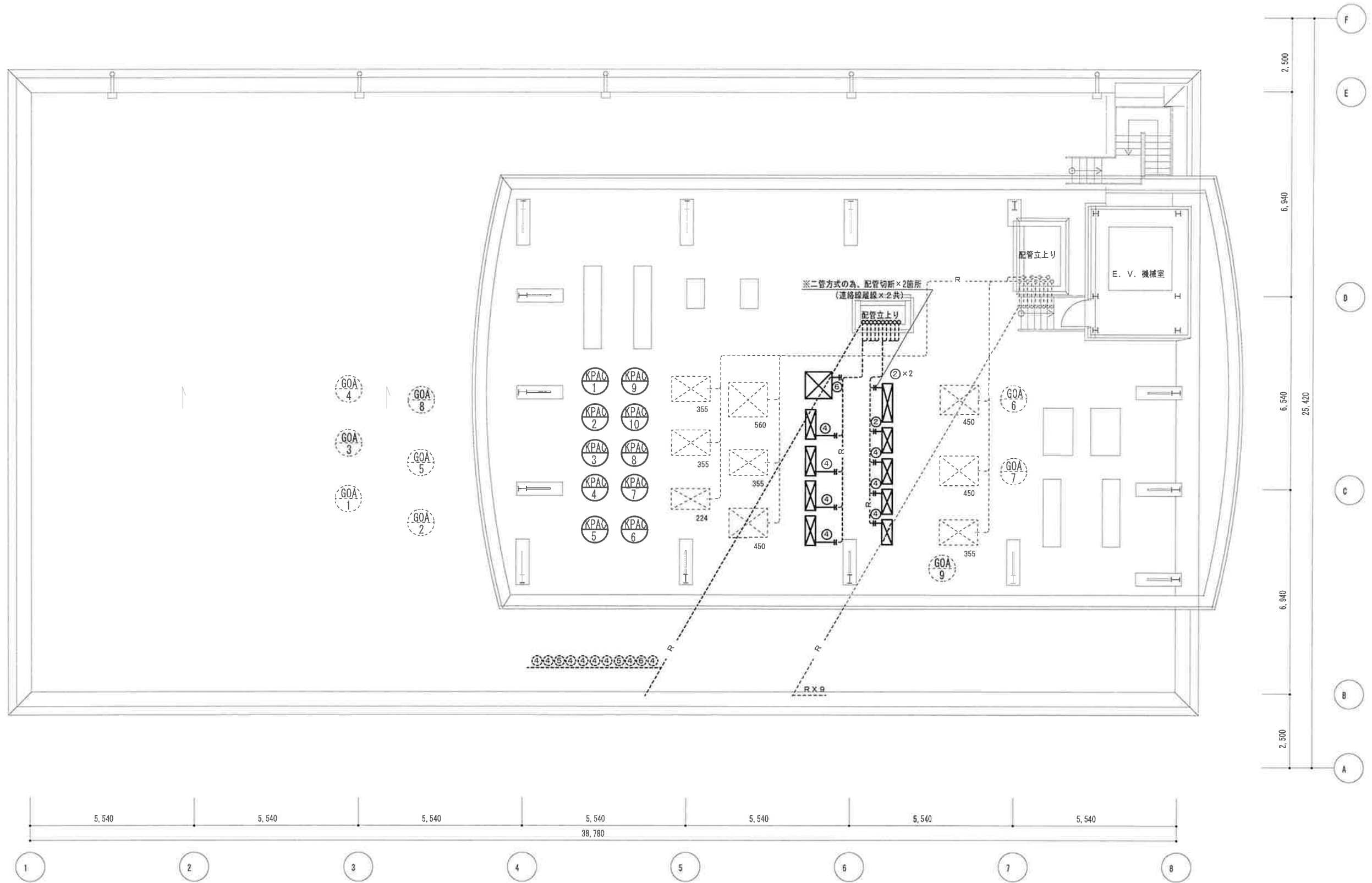
冷媒配管リスト			
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)	渡り配管
①	9.52	6.35	CVV2" - 2C
②	12.7	6.35	CVV2" - 2C
③	15.88	6.35	CVV2" - 2C
④	15.88	9.52	CVV2" - 2C
⑤	19.05	9.52	CVV2" - 2C

⑥	25.4	12.7	CVV2" - 2C
⑦	31.8	12.7	CVV2" - 2C
⑧	31.8	15.88	CVV2" - 2C
⑨	31.8	19.05	CVV2" - 2C
⑩	38.1	19.05	CVV2" - 2C

既設配管は参考とする
既設配管は参考とする

凡例	
既設機器、配管を示す (撤去)	——
既設機器、配管を示す (残置)	----
既設配管切断箇所を示す	=
スラブ上、立ち上げ配管切断箇所を示す	↑

※スラブは撤去する事 (取付スラブ、配線は再利用)
※既設運搬線、スラブ線 (再利用) は機器撤去を行う事



既設R階平面図 1/100 (A2)

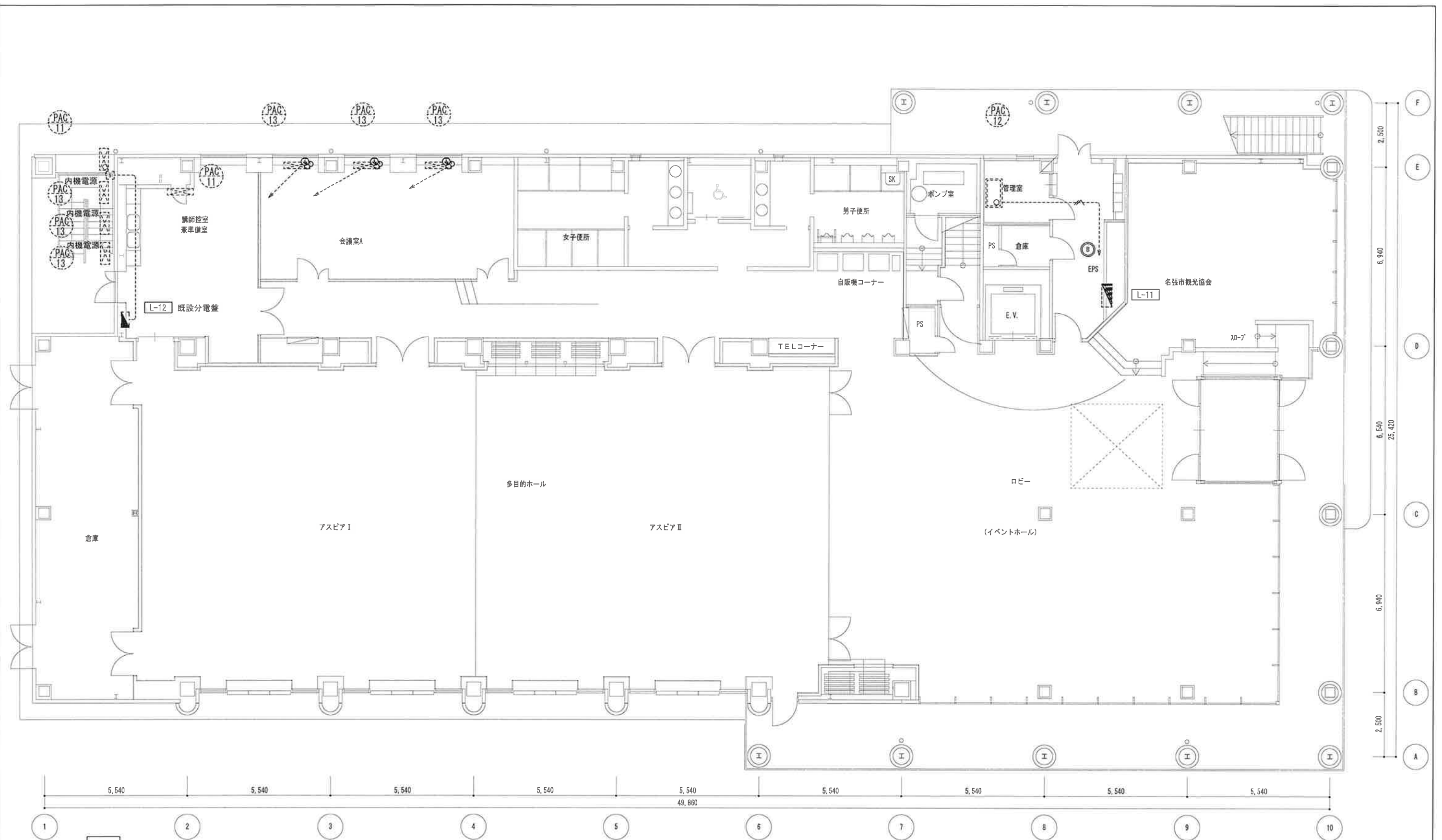
冷媒配管リスト			
記号	ガス管 (φ)	液管 (φ)	渡り配線
①	9.52	6.35	CVV 2" - 2C
②	12.7	6.35	CVV 2" - 2C
③	15.88	6.35	CVV 2" - 2C
④	15.88	9.52	CVV 2" - 2C
⑤	19.05	9.52	CVV 2" - 2C

⑥	25.4	12.7	CVV 2" - 2C
⑦	31.8	12.7	CVV 2" - 2C
⑧	31.8	15.88	CVV 2" - 2C
⑨	31.8	19.05	CVV 2" - 2C
⑩	38.1	19.05	CVV 2" - 2C

既設配管は参考とする
既設配管は参考とする

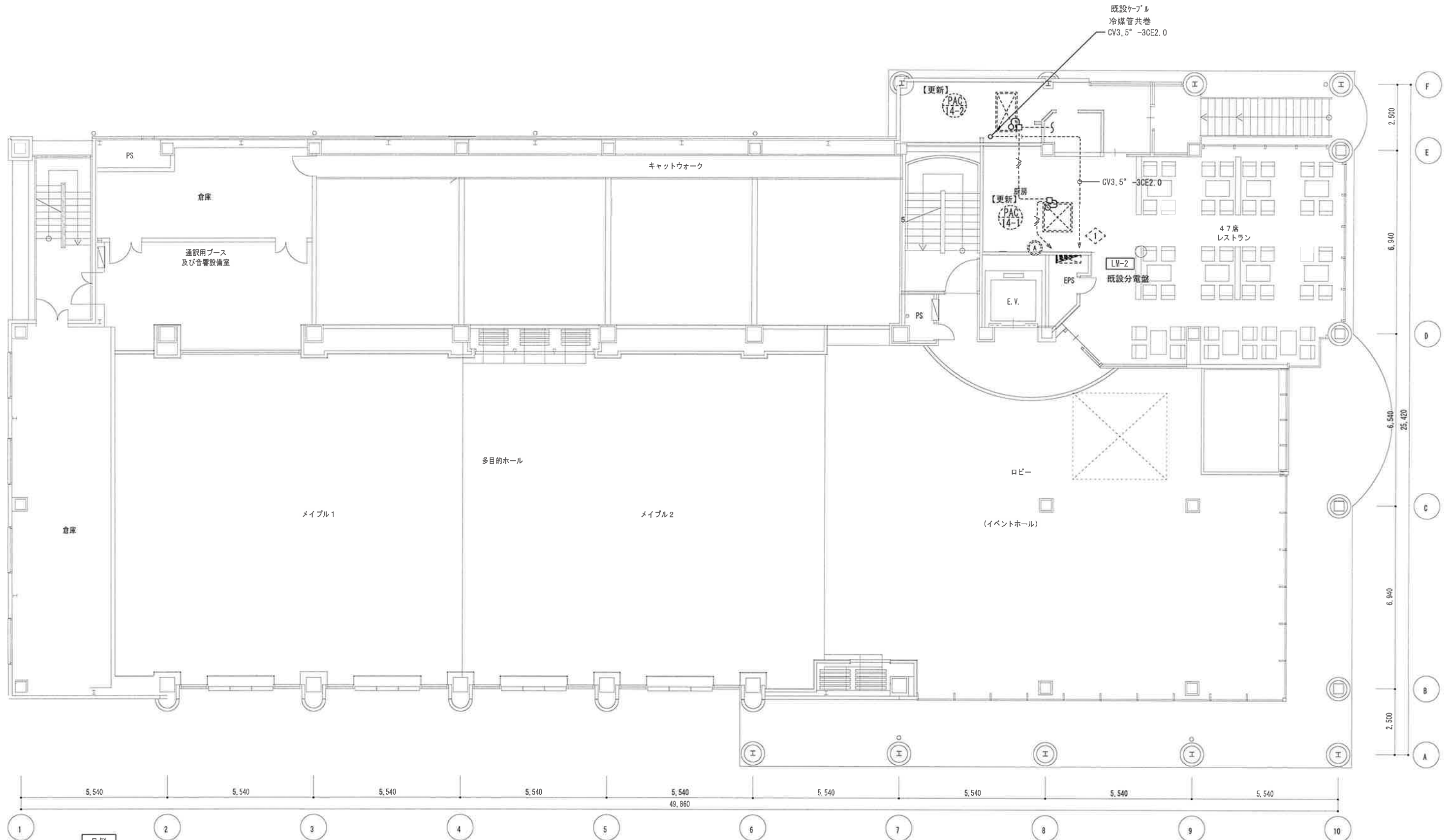
凡例	
既設機器、配管を示す (撤去)	——
既設機器、配管を示す (残置)	----
既設配管切断箇所を示す	=
天井上、立ち上げ配管切断箇所を示す	↑

※天井は撤去する事 (取付ボルト、配線は再利用)
※既設連絡線、天井線 (再利用) は機器離線を行う事



1階平面図 1/100 (A2)

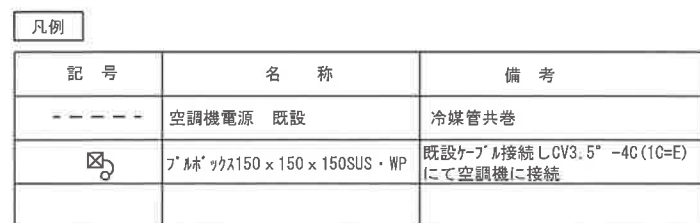
凡例		
記号	名称	備考
	電灯分電盤	既設
	空調機電源 既設	既設
	空調機電源 既設	既設
	コンセント	既設
	手元開閉器盤 (ELCBP50/50)	既設



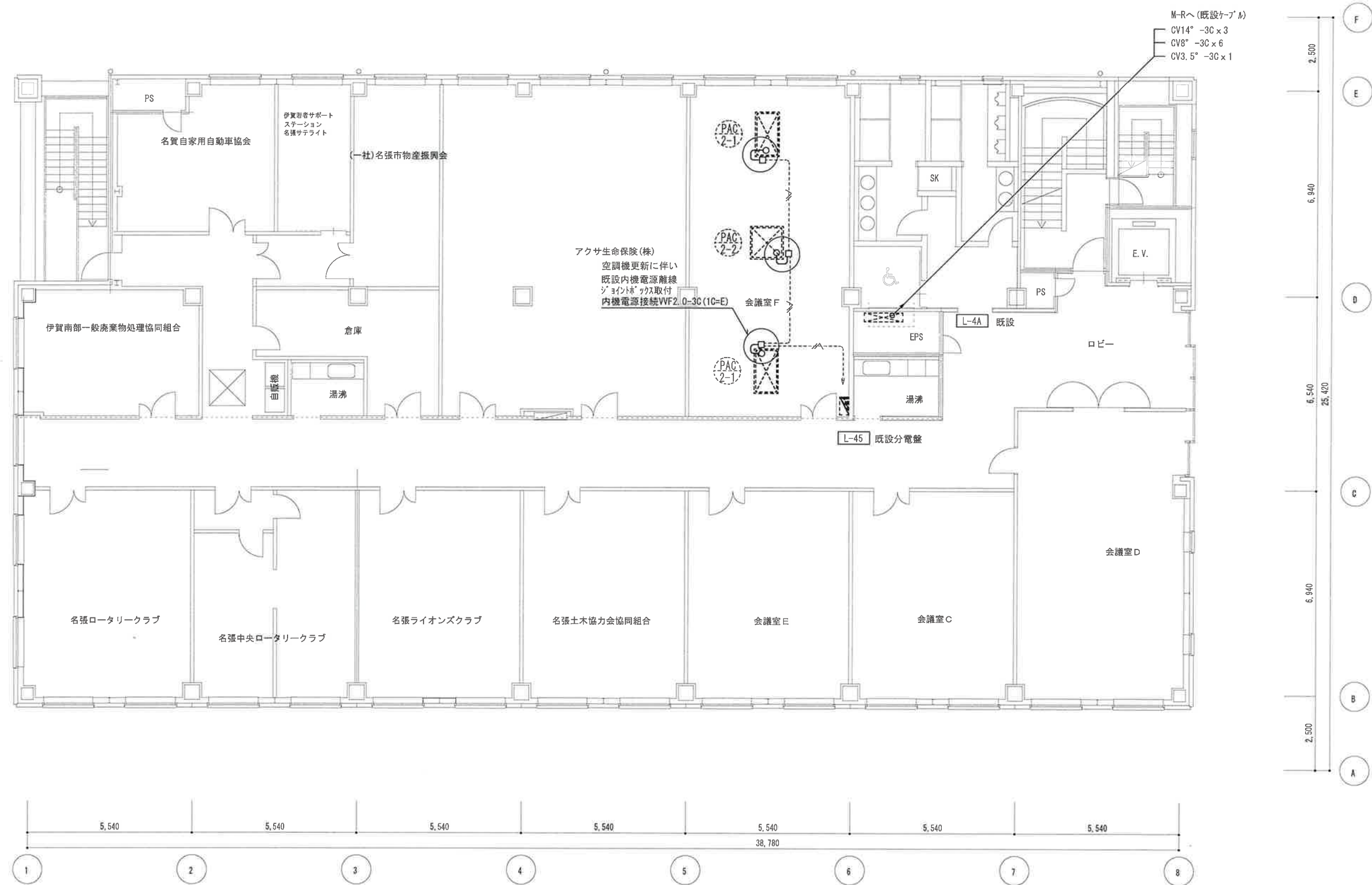
2階平面図 1/100 (A2)

凡例

記号	名称	備考
	電灯動力分電盤	既設
	空調機電源 既設	VVF2.0-3C(10=E)
	空調機電源 既設	冷媒管共巻
	既設ケーブル接続ボックス	既設ケーブル接続し VVF2.0-3C(10=E)にて空調機に接続



設備設計	工事名	図面番号	設計番号		名張商工会議所 総務管理課	原設計図著作権譲渡済   
株式会社 易設計	名張産業振興センター冷暖房設備 (EHP) 改修工事	17/19	E-03			
 	3階平面図(空調電源設備)	縮尺 A2:1/100 A3:1/140				



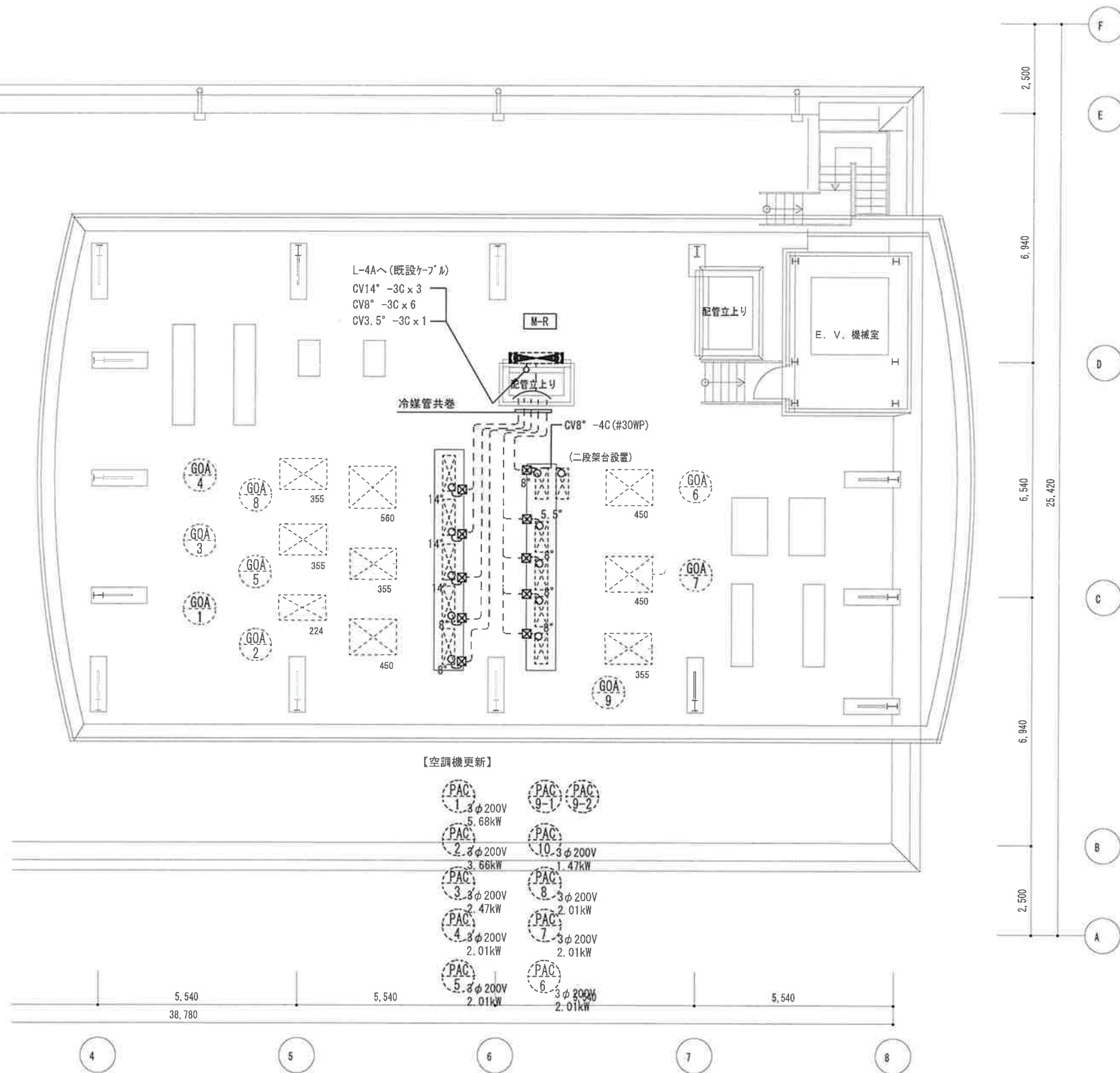
4階平面図 1/100 (A2)

負 荷 名 称	遮断器 AF/AT	容 量 kW	番 号		100/60	番 号	容 量 kW	遮断器 AF/AT	負 荷 名 称
GOA-1 (4階研修室)	50/20	0.8		E	×		1.69	50/20	GOA-2 (3階商工会議事務室)
GOA-3 (3階和室)	50/20	0.91		E	×		0.91	50/20	GOA-4 (3階特別会議室)
GOA-5 (2階レストラン)	50/20	1.69		E	×		1.69	50/20	GOA-6 (1階多目的ホール)
GOA-7 (1階多目的ホール)	50/20	1.69		E	×		2.05	50/20	GOA-8 (1階ビル・イベントホール)
GOA-9 (1階展示コーナー)	50/20	1.91		E	×			50/20	M-PA
制御電源	50/20			-	×				

自 L-4A	--X--	5.4	50/NT	PAC-1
自 L-4A	--X--	4.47	50/NT	PAC-2
自 L-4A	--X--	4.47	50/NT	PAC-3
自 L-4A	--X--	3.14	50/NT	PAC-4
自 L-4A	--X--	2.58	50/NT	PAC-10
自 L-4A	--X--	3.18	50/NT	PAC-9
自 L-4A	--X--	3.18	50/NT	PAC-5
自 L-4A	--X--	3.18	50/NT	PAC-6
自 L-4A	--X--	3.18	50/NT	PAC-7
自 L-4A	--X--	3.18	50/NT	PAC-8

凡例

記 号	名 称	備 考
	動力分電盤	既設
	空調機電源 既設	冷媒管共巻
	ﾌﾞﾙｯｸｽ	SUS・WP150×150×150
	既設ケーブルと接続	
	冷媒管共巻電源ケーブル接続 更新空調機配線	
	φ14° =CV14° -3C E5.5°	
	φ8° =CV8° -3C E5.5°	
	φ5.5° =CV5.5° -3C E5.5°	



R階平面図 1/100 (A2)